



「こども」と向き合う

学校教育課程
初等中等教育コース
教育実践プログラム
英語教育プログラム
理数教育プログラム
特別支援教育コース
こども発達コース

秋田大学 教育文化学部 学部案内 2025

Akita University Faculty of Education and Human Studies



地域文化学科
地域社会コース
国際文化コース
心理実践コース

「地域」に寄り添う

Let's find out together!

CONTENTS

高校生・受験生のみなさんへ

教育文化学部の育てる人間像…03

教育文化学部の目的と構成…03

取得可能な免許・資格…04

学校教育課程…05

初等中等教育コース

教育実践プログラム…06

英語教育プログラム…07

理数教育プログラム…08

特別支援教育コース…09

こども発達コース…10

地域文化学科…11

地域社会コース…13

国際文化コース…14

心理実践コース…15

在学状況…16

教員紹介…17

国際交流・留学支援…19

関連教育研究機関等…20

キャリア形成・就職支援…21

就職体験談…22

2025年度入学者選抜の方法 ……裏表紙



高校生・受験生のみなさんへ

教育文化学部の育てる人間像

現代の課題を総合的に探究し、
教員および新たな生活文化の
創造を担う人材を育成します。

教育文化学部は、将来教員をめざす人のための「学校教育課程」と、地域で活躍する公務員・企業人をめざす人のための「地域文化学科」の2つで構成されています。令和7年度からは、より充実した教育内容を実現するために、若干のコース・カリキュラムの再編を行い、新たなスタートを切ります。

学校教育課程では「初等中等教育コース」、「特別支援教育コース」、「こども発達コース」の3コースを用意し、それぞれの校種や教科で専門性が発揮できる人材を養成します。また実地研究などの体験型授業を系統的に配置し、大学での学びが学校現場にそのままに生きる教育を一貫して行います。

地域文化学科では「地域社会コース」、「国際文化コース」、「心理実践コース」の3コースを用意し、それぞれの見地から地域社会の再生や創生を考えます。「地域社会コース」では法学や経済学などの社会科学系の学問をベースに、現場体験を重視しながら、地域を支える即戦力を養成します。「国際文化コース」では文学や歴史などの人文科学系の学問をベースに、グローバルな視点から多文化の受容と発信、その共生を推進する力を養成します。「心理実践コース」では心理学の基礎理論を学び、地域を支えるこころの専門家を養成します。

本学部はこのように、同じ学部内にあって、さまざまな学問分野が同居する大変に恵まれた環境を持つ学部だといえます。四季折々、自然豊かな本学のキャンパスで、あなたの夢の実現に向けた一歩を踏み出してみませんか。

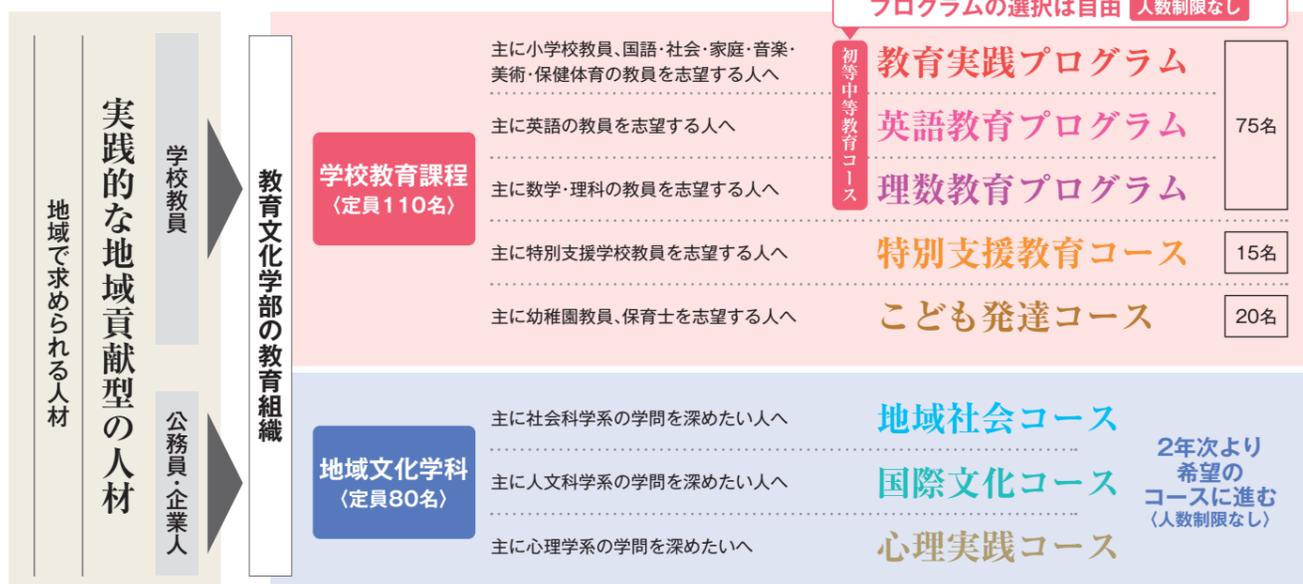


教育文化学部長
大橋 純一
OHASHI Junichi

※教育文化学部、学校教育課程および地域文化学科と各コースのアドミッションポリシーは7月公表予定の入学者選抜要項でご確認ください。

教育文化学部の目的と構成

より充実した教育内容を実現するために、令和7年度から学校教育課程は現在の5コースから「初等中等教育コース(教育実践プログラム・英語教育プログラム・理数教育プログラム)」、「特別支援教育コース」、「こども発達コース」の3コースになります。また、地域文化学科はコースにまたがる共通の科目を増設し、募集人員80名として新たなスタートを切ることを予定しています。



秋田大学教育文化学部で取得可能な免許・資格

学校教育課程で取得可能な教員免許状 ^(注1) ◎必須(卒業要件) ○可能

コース	小学校教諭1種	中学校教諭1種	小学校教諭2種	中学校教諭2種	高等学校教諭1種	特別支援学校教諭1種	幼稚園教諭1種	
初等中等教育コース	教育実践プログラム ^(注2)	《パターン①》小学校1種免許を主免とし、中学校1種を副免とする者	◎	◎ 国、社、家、音、美、保体		○ 国、地歴、公民、家、音、美、保体	○	○
		《パターン②》小学校1種免許を主免とし、中学校2種を副免とする者	◎		◎ 国、社、家、音、美、保体	○ 国、地歴、公民、家、音、美、保体	○	○
	英語教育プログラム ^(注3)	《パターン①》中学校1種免許を主免とし、小学校2種を副免とする者	○	◎ 英語	◎	○ 英語	○	○
		《パターン②》小学校1種免許を主免とし、中学校1種を副免とする者	◎	◎ 英語		○ 英語	○	○
	理数教育プログラム ^(注3)	《パターン③》小学校1種免許を主免とし、中学校2種を副免とする者	◎	○ 英語		◎ 英語	○	○
		《パターン①》中学校1種免許を主免とし、小学校2種を副免とする者	○	◎ 理科・数学	◎	○ 理科・数学	○	○
《パターン②》小学校1種免許を主免とし、中学校1種を副免とする者		◎	◎ 理科・数学		○ 理科・数学	○	○	
《パターン③》小学校1種免許を主免とし、中学校2種を副免とする者	◎	○ 理科・数学		◎ 理科・数学	○ 理科・数学	○	○	
特別支援教育コース		◎ (どちらか)		○ 国、数、理、社、英、家、音、美、保体	○ 国、数、理、地歴、公民、英、家、音、美、保体	◎	○	
こども発達コース ^(注4)	《パターン①》幼稚園教諭1種免許を主免とする者 ^(注5)	○	◎ 国、数、理、社、英、家、音、美、保体	◎	◎ 国、数、理、地歴、公民、英、家、音、美、保体	○	◎	
		◎	○ 国、数、理、社、英、家、音、美、保体		○ 国、数、理、地歴、公民、英、家、音、美、保体	○	○	
《パターン②》小学校教諭1種免許を主免とする者 ^(注6)	◎	○ 国、数、理、社、英、家、音、美、保体		○ 国、数、理、地歴、公民、英、家、音、美、保体	○	○	○	

(注1)教員免許状には、1種免許状と2種免許状があります。2種免許状の学校種・教科で教員に就職した場合、就職後に講習を受けて1種免許状を取得することが必要になります。2種免許状より多くの単位を修得すれば1種免許状を取得できます。

(注2)教育実践プログラムでは、必須(卒業要件)となる免許を、「小学校教諭1種」(主免)に加え、「中学校教諭1種」(副免)あるいは「中学校教諭2種」(副免)から選択することができます。

(注3)英語教育プログラム及び理数教育プログラムでは、必須(卒業要件)となる免許を「中学校教諭1種+小学校教諭2種」、「小学校教諭1種+中学校教諭1種または中学校教諭2種」から選択することができます。

(注4)こども発達コースでは、必須(卒業要件)となる免許(資格)を「幼稚園教諭1種+保育士+小学校教諭2種」と「小学校教諭1種」から選択することができます。

(注5)こども発達コースで幼稚園教諭1種を主免とする者は、保育士資格と小学校教諭2種をあわせて取得することが必須(卒業要件)となります。

(注6)こども発達コースで小学校1種を主免とする者は、義務ではありませんが、幼稚園教諭1種、保育士、社会教育主事、学校図書館司書教諭などを選択して取得するよう指導します。

保育士

- 保育士資格は児童福祉法で規定されている保育に関わる国家資格です。
- この資格は乳幼児を対象とする保育のほか、児童養護施設、母子生活支援施設、障害児(者)施設、乳児院などでも必要です。幼保連携型認定こども園の「保育教諭」は幼稚園教諭と保育士資格の併有が必要です。
- 教育文化学部では規定の単位を修得して幼稚園教諭・小学校教諭の免許状とともに保育士資格を取得することが可能です。こども発達コースのカリキュラムで学ぶ学生が取得できますが、20名の養成定員内であれば、特別支援教育コースや教育実践プログラムの学生も希望によって取得できます。

社会教育主事・社会教育士

- 社会教育主事とは、都道府県及び市町村の教育委員会に置かれる専門職です。公民館・図書館・博物館等の社会教育施設の職員や、青少年団体・婦人会・PTA等社会教育関係団体の指導者に、社会教育施設の在り方やその活動、社会教育関係団体の運営や活動について、専門的な指導、助言を行います。
- 教育文化学部で開講している、文部科学省令で定める社会教育に関する科目を履修して修得することにより、社会教育主事となりうる資格(任用資格)が得られます。また、「社会教育士(養成課程)」と称することができます。

学校図書館司書教諭

- 学校図書館司書教諭とは、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に設置された学校図書館で専門的職務を行うための資格です。
- 学校図書館司書教諭の資格取得要件は、小・中・高校・特別支援学校教諭の普通免許状の取得と文部科学大臣の委託を受けた大学等が行う講習の受講です。
- 教育文化学部在学中に資格取得に必要な科目の単位(10単位)を全て修得した場合は、講習科目の単位を修得したものとみなされます。

公認心理師・認定心理士

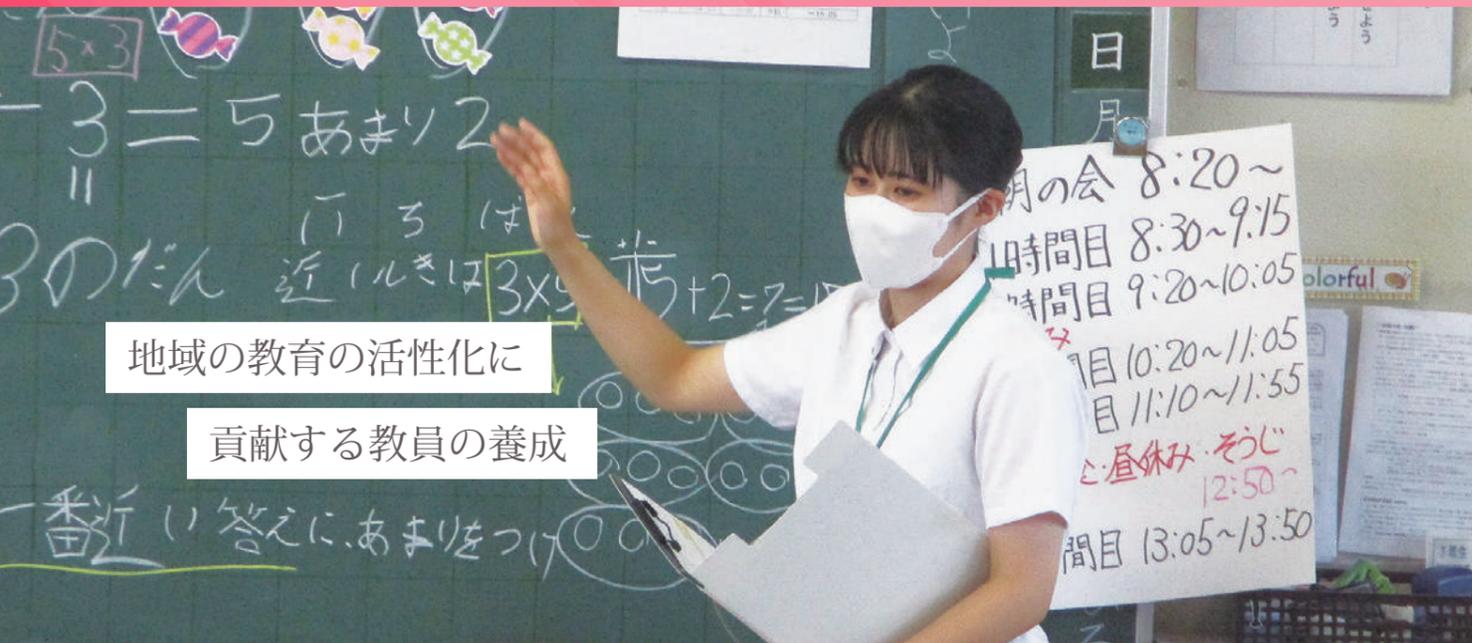
- 公認心理師は、心理職初級国家資格です。大学において必要な科目を修めて卒業し、かつ大学院において必要な科目を修めて修了(または2年以上の実務経験)することにより受験資格を得ることができます。
- 認定心理士は、大学で心理学を専門的に学んだことを証明するものです。卒業論文が心理学関係でなくても、必要単位数を取得すれば資格申請できます。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

- 公認スポーツ指導者とは、(公財)日本スポーツ協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき認定する各種資格の総称です。
- 卒業までに必要な単位を修得し、検定試験に合格することにより、スポーツ指導基礎資格の「スポーツコーチングリーダー」を取得することができます。
- マネジメント資格の「アシスタントマネージャー」については、養成講習会の受講が免除され、卒業年度の検定試験に合格することによって資格を取得することができます。
- その他、競技別指導者資格等の専門資格を取得するための講習会を受講する際に、共通科目Ⅲコースの受講が免除されます。
- 各種資格の詳細は、日本スポーツ協会ホームページを参照してください。
(<https://www.japan-sports.or.jp/>)

※公認スポーツ指導者制度の改定に伴い、資格の名称や取得方法等が変更される可能性があります。

学校教育課程



地域の教育の活性化に

貢献する教員の養成

学校教育課程の特徴

1. 秋田の教育界と連携し、全国トップクラスの学力を支える学校現場での実習を通して、高度な教育力を身につけることができます。
2. インクルーシブ教育や小学校での外国語活動・理科実験、防災教育、幼保小の連携などを学ぶことができます。
3. 教職入門、教育福祉実習(介護等体験)、附属学校園と公立学校での教育・保育実習を系統的に行うことによって、より確かな実践力を養うことができます。
4. 段階的に行われる教育実地研究という学校や児童館、少年自然の家などにおける実習活動を通して、子どもたちの様々な姿をとらえ、子どもたちの視点にたつことの重要性を肌で感じることができます。

初等中等教育コース

教育実践プログラム

英語教育プログラム

理数教育プログラム

特別支援教育コース

こども発達コース

学校教育課程の カリキュラムの基本

教員・保育者に必要な能力を身につけることを目指し、「教育実習系科目」と「現場実践力育成」を軸にカリキュラムを構成しています。



初等中等教育コース

教育実践プログラム

対象

- ▶ 小学校教員を志望する人
- ▶ 主に国語・社会・家庭・音楽・美術・保健体育の中・高の教員を志望する人

- ▶ 高度な教育実践力を備えた小学校教員を養成するプログラムです。
- ▶ 各教科指導の専門性と同時に、教科を超えた探究的な授業づくりができる教員を養成します。

卒業要件となる教員免許状

小学校教諭1種免許状及び中学校教諭1種免許状(国語・社会・家庭・音楽・美術・保健体育)
または
小学校教諭1種免許状及び中学校教諭2種免許状(国語・社会・家庭・音楽・美術・保健体育)



音楽通論(編曲演習・実演)の様子



美術の授業の様子

プログラムの特色

高度な教育実践力を備えた教員の養成

各教科について幅広く学ぶことができます。全国トップクラスの学力を支える秋田の教師力を継承し、実践の場で活かすことのできる専門性を身につけることができます。

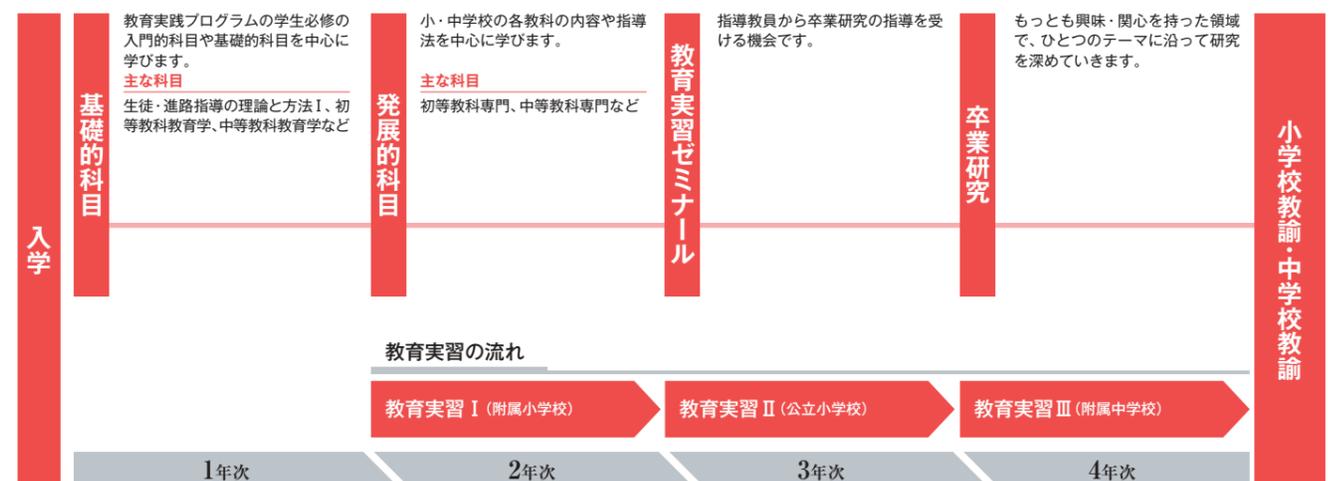
より深い教科の専門性

学びを深めたい教科を選んで中学校教員の免許を取得することができます。その専門性を基礎として、小中連携に活躍する力量を形成することができます。

実践的な教育カリキュラムの充実

附属小学校と公立小学校の両方で教育実習を経験することによって、小学校教育現場の実際について深く学ぶことができます。実習だけではなく実践的な授業も開設しており、授業の中でも教育の現代的な課題について学ぶことができます。

教育実践プログラムの専門教育科目と実習



英語教育プログラム

対象

- ▶ 英語の中・高の教員及び小学校の教員を志望する人
- ▶ 高い英語コミュニケーション能力と異文化間能力を持つ英語科教員を目指す人

▶ 小学校から高校まで連携した英語科教育を実践できる英語科教員を養成するプログラムです。

▶ 英語コミュニケーション能力のみならず、異文化間能力を持ち、学校教育における異文化教育を推進し、次世代のグローバル人材を育成する英語科教員を養成します。

卒業要件となる教員免許状

中学校教諭1種免許状(英語)及び小学校教諭2種免許状
または
小学校教諭1種免許状及び中学校教諭1種免許状(英語)
もしくは
小学校教諭1種免許状及び中学校教諭2種免許状(英語)



Students not only learn from teachers...



...but from each other as well

プログラムの特色

小学校から高校までを視野に入れた英語科教育

言語を身につけるメカニズムの研究を基礎として、英語科教育それぞれの段階にふさわしい英語の教え方を考え、身につけていきます。

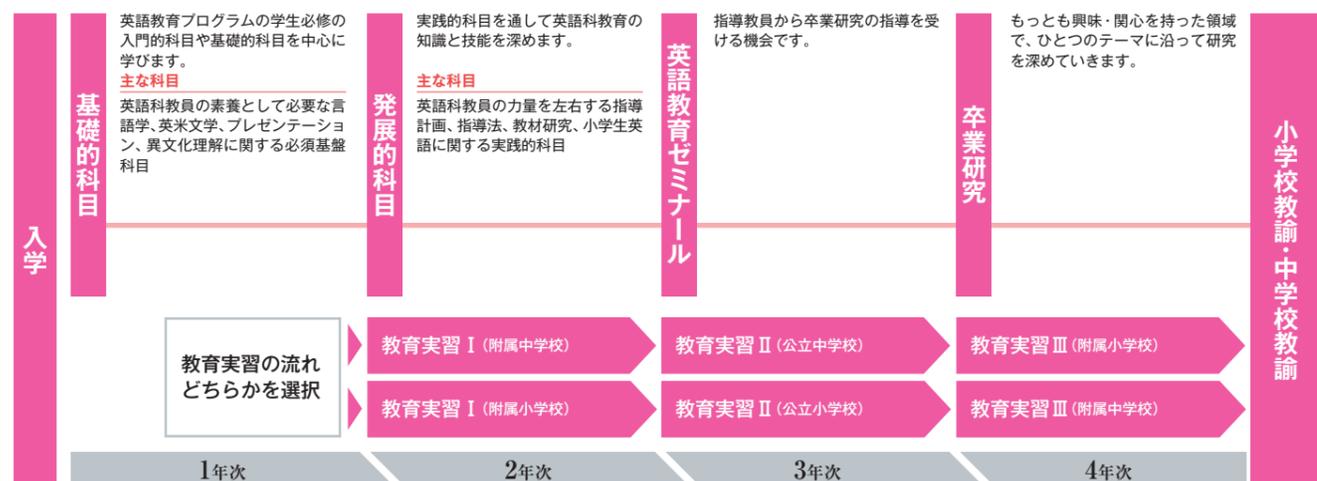
異文化をつなぐ教員の資質育成

日頃から、ALT、留学生、協定校との交流で基礎力を高めつつ、短期海外研修、協定校への留学を視野に入れたカリキュラムで、異文化をつなぐ教育者の資質を鍛えます。

英語で授業をする教員の養成

英語で授業をする能力はもちろんのこと、その背後にある社会や文化について理解を深め、異文化の人々と充実した交流ができるレベルの英語力を身につけます。

英語教育プログラムの専門教育科目と実習



理数教育プログラム

対象

- ▶ 理科・数学の中・高の教員及び小学校の教員を志望する人
- ▶ 自然科学や数理学の能力を高めたい人

▶ 自然科学や数理学の分野において、高い専門性を持った理数系教員を養成するプログラムです。

▶ 理科・数学指導の実践的スキルにすぐれ、新しい理数教育を開拓していくことができる教員を養成します。

卒業要件となる教員免許状

中学校教諭1種免許状(理科または数学)及び小学校教諭2種免許状
または
小学校教諭1種免許状及び中学校教諭1種免許状(理科または数学)
もしくは
小学校教諭1種免許状及び中学校教諭2種免許状(理科または数学)



個別観察・実験による充実した実技指導の様子



数学科教育学演習の様子

プログラムの特色

理科教育や数学教育につよい教員の養成

充実した教授陣による少人数教育で、理科や算数・数学の専門的知識を習得でき、高い指導力が身につきます。

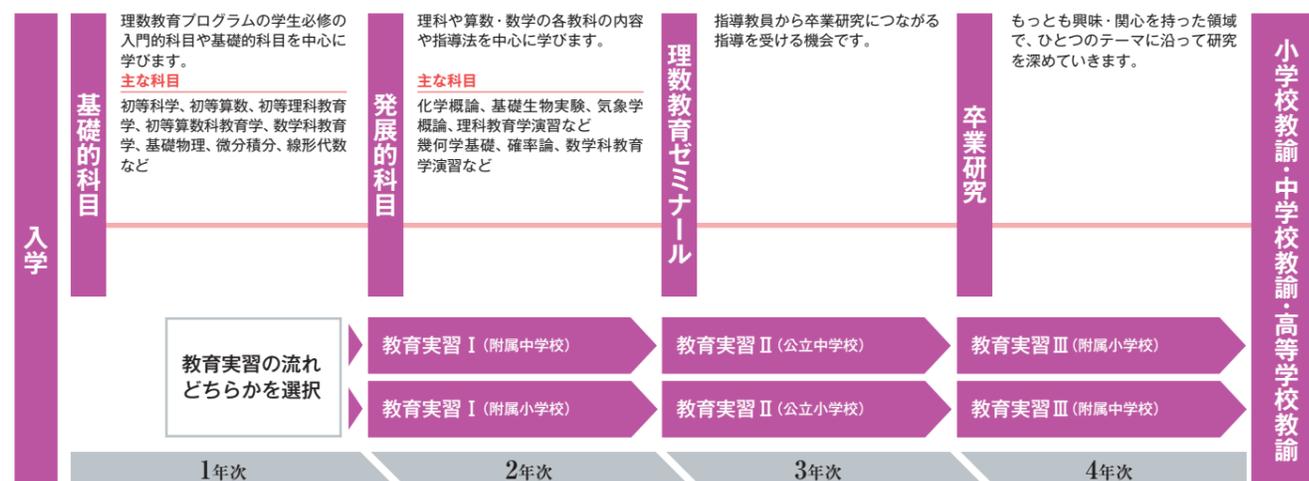
理科・数学の好きな子どもを育てる秘訣の伝授

多彩な実験、野外実習授業や演習・ゼミナールで、理科や算数・数学の好きな子どもを育てる秘訣がわかります。

自分の頭で考える!

「自分の頭で考える」「実際にやってみる」ことを大切にします。実感を伴った理解へと学習を発展させることができる教員を養成します。

理数教育プログラムの専門教育科目と実習



特別支援教育コース

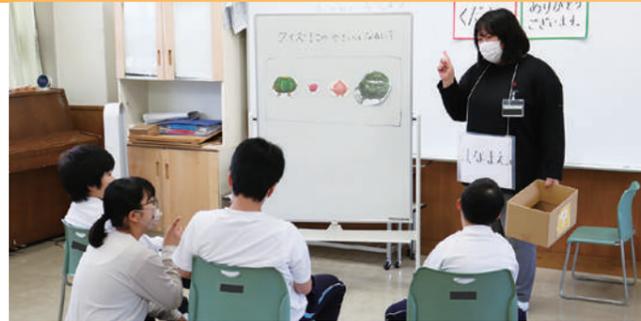
対象

- ▶ 特別支援教育やインクルーシブ教育の能力を高めたい人
- ▶ 特別支援教育の教員を志望する人

▶ インクルーシブな環境で、発達の特性や特別なニーズに対応した支援を実践できる教員を養成するコースです。

卒業要件となる教員免許状

特別支援学校教諭1種免許状及び
小学校教諭1種免許状または
中学校教諭1種免許状



特別支援学校での教育実習



特別支援学校での教育実習

コースの特色

障がいのある子どもの心理や支援を深く考えられる教員の養成

知的障がいや病弱、肢体不自由を中心に幅広い障がいについて学びます。障がいに対する理解はもちろんのこと、発達検査や支援方法など実際の教育現場で活かせる勉強ができます。

障がいを多面的に捉えられる教員の養成

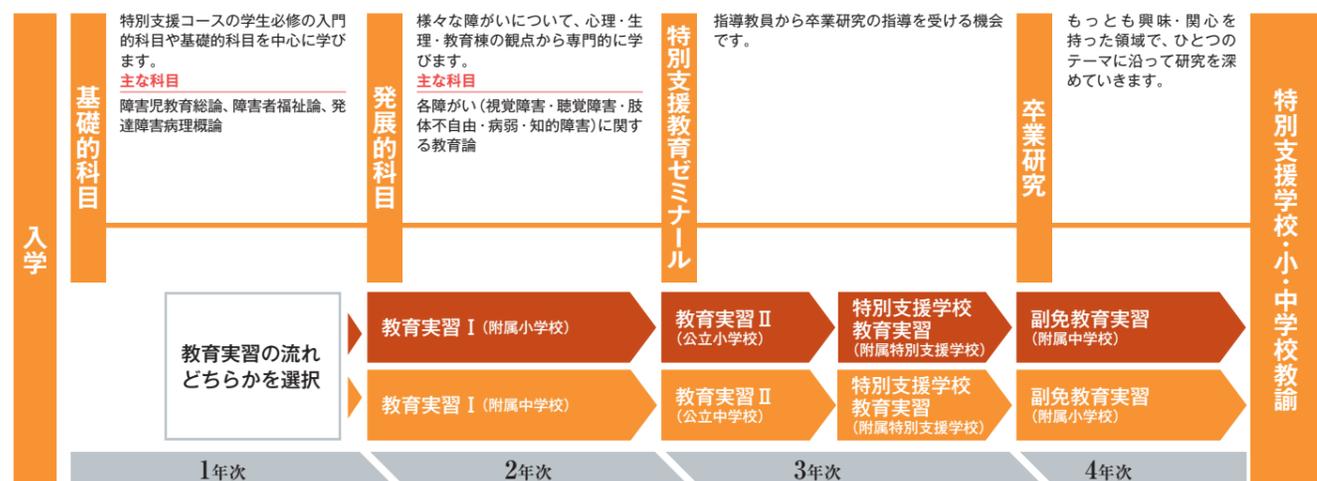
同じ障がい名がついていても、子ども一人一人は違います。その違いの背景を多面的に捉えることのできる教員を養成します。

学校や地域におけるインクルーシブ教育の体験

様々な実習や演習に加え、ボランティア活動による障がいのある子どもやその家族とのかわりを通して、授業外でも学校や地域におけるインクルーシブ教育*を肌で感じることができます。

*障がいのある児童生徒が、障がいのない児童生徒と共に学ぶことにより、その能力の発達と社会参加を進めていくシステム

特別支援教育コースの専門教育科目と実習



※ ■の実習の流れは、小学校免許を基礎免許とする場合(小学校基礎免) ※ ■の実習の流れは、中学校免許を基礎免許とする場合(中学校基礎免)

こども発達コース

対象

- ▶ 幼稚園教諭・保育士(保育教諭)を志望する人
- ▶ 幼保小連携に対応する保育・小学校教員を志望する人

▶ 幼稚園教諭・保育士(保育教諭)及び小学校教員の養成を主とするコースです。

▶ 幼保小連携に対応できる保育者・小学校教員を養成します。

卒業要件となる教員免許状

幼稚園教諭1種免許状、保育士資格及び
小学校教諭2種免許状または
小学校教諭1種免許状



附属幼稚園での教育実習の様子



附属小学校での教育実習の様子

コースの特色

子どもの発達・教育を支援する教員の養成

子どもの発達を見通しながら、乳児期から児童期の子どもにかかわる教育や支援をすることができる教員・保育士を養成します。

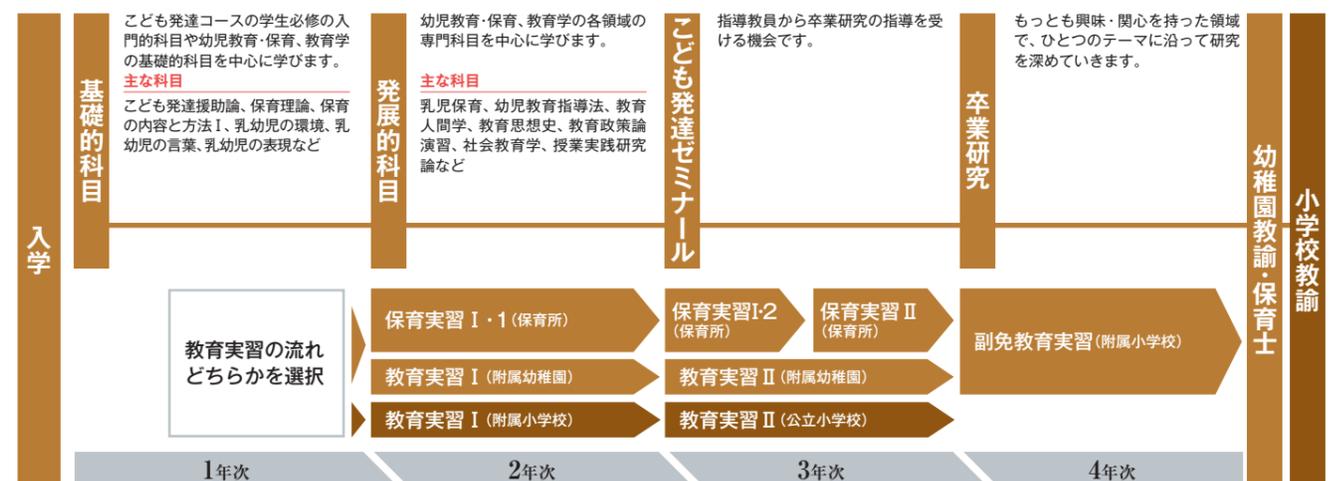
子どもと共に実践力を磨く

幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、児童館、乳児院などでの実習・ボランティアを通して、子どもから学ぶことがたくさんあります。子どもと共に過ごす機会を多く持つことによって実践力を磨くことができます。

多様な視点から子どもを考える

主に乳幼児期から小学生の子どもたちの生活や教育に関わる幅広い課題について、教育学や発達心理学などの分野の多様な視点から学ぶことができます。

こども発達コースの専門教育科目と実習



※ ■の実習の流れは、幼稚園・保育士の資格取得に重点をおく場合 ※ ■の実習の流れは、小学校免許の資格取得に重点をおく場合

地域文化学科



学生による田植えの様子



フランス短期滞在研修(ルーヴル美術館)

地域文化学科の特徴

1. 地域の活性化に貢献する人材の養成

今、何よりも必要とされているのが、地域の活性化に貢献できる人材の養成です。そして、地域の現状を日本全体やアジア・欧米をも視野に入れて多角的に把握しつつ、解決策を模索する力が求められています。地域文化学科では、秋田を含む様々な地域や国の社会・文化・人のあり方について社会科学と人文科学の観点から総合的に学び、「グローバル」と「ローカル」の双方向的視点から地域を理解することで、その課題解決のための知識や考え方を身につけます。

2. 地域社会での「体験」の重視

フィールドワークや学生参加型授業によって、地域の諸課題を見出し、様々な人々とのコミュニケーションや協働といった「体験」を通して、地域の実情に即した解決方法を学びます。地域を支えることの大切さとやりがいを実感できるよう、「体験」を重視した教育を行います。

3. 国際社会の中で「地域」を考える

国際的な視野を持ち、多様な文化の中で「地域」を捉える力と、「地域」を世界に向けて発信していく力を身につけるために、英語をはじめ、様々な外国語修得プログラムを用意しています。

4. 人々を支援するための実践的な心理学

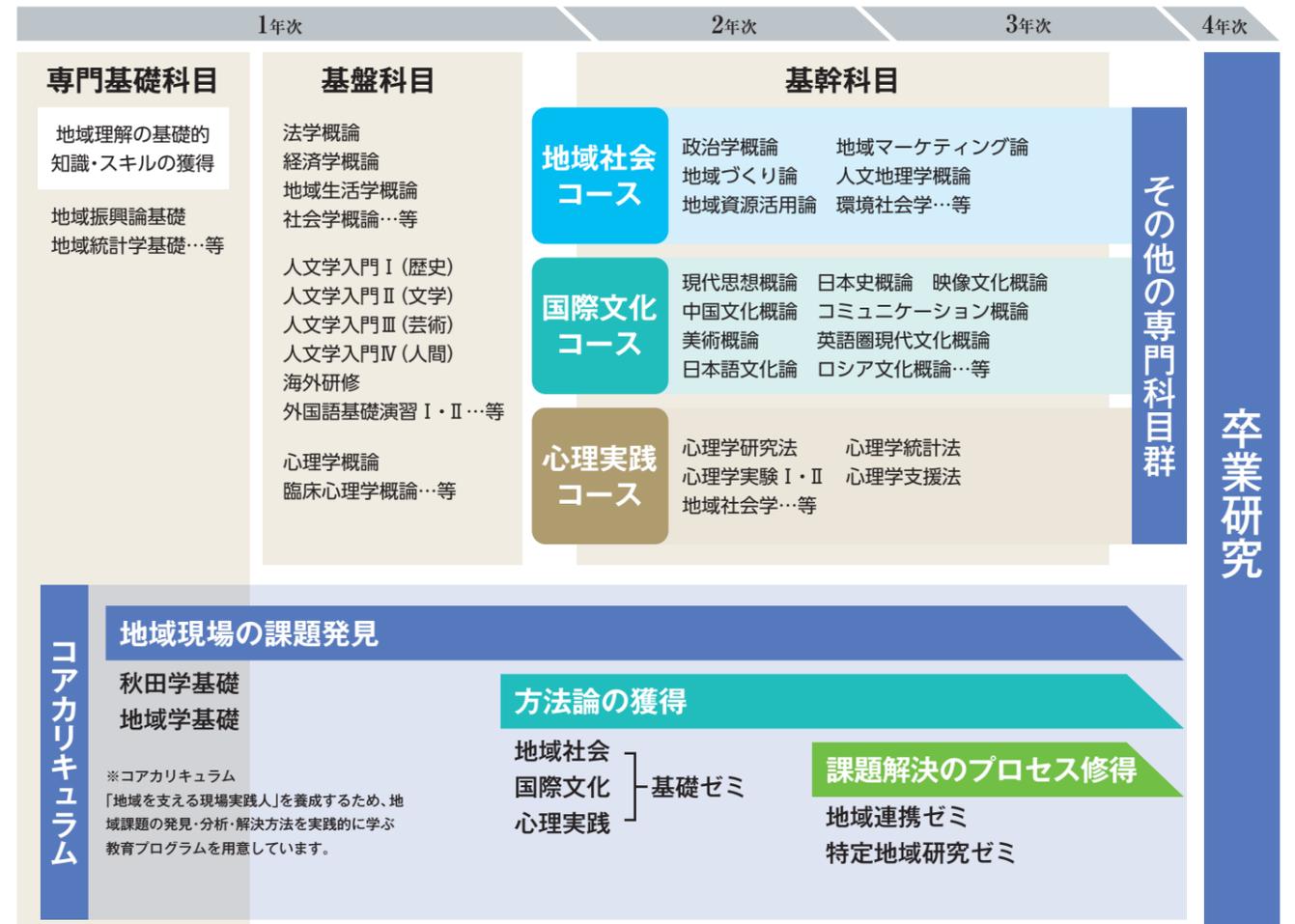
教育や子育て、医療・福祉など、現代は様々な領域に心理学的支援を必要とする人々があります。この多様な現場で地域の人々の心に寄り添いながら課題を理解し、実践的な支援を行える人材を養成します。

地域文化学科のカリキュラムの特色

地域文化学科では、幅広い教養を身に付けることを前提としながらも、地域社会コースは、地域活性化のための様々な場面をコーディネートする実践力養成を、国際文化コースは、地域の国際化を支えるグローバルな見識と行動力養成を、そして心理実践コースは、地域で生きる人々に寄り添う心理的支援力(及び公認心理師)の養成を実現するため、それぞれの目的に応じた段階的なカリキュラムを用意しています。



1年次から地域に出かけて現場の取り組みや地域資源を体験(1年次「地域学基礎」での活動の様子)



コースの選択

地域文化学科では、1年次は社会を多角的に捉える基礎となる教養科目や、学科全体に共通する専門基礎科目を学びます。2年次になる段階で、各自が専門的学習の中心とするコースを選択します。そこで「地域社会」「国際文化」「心理実践」のいずれかの専門科目を中核としながら、他コースの様々な専門科目も幅広く学ぶことで、深い専門性と多角的な視点を身につけて、地域社会を支えるための実践力の基盤をつくることができます。



海外の文献紹介の様子(特定地域研究ゼミ)

地域社会コース

▶ 教室(理論)と現場(体験)を往還して社会のしくみを実践的に学ぶコースです。



地域スポーツ団体との地域活性化活動



横手市大雄ホップ園の視察



大仙市内の酒蔵での日本酒仕込み作業

コースの特色

社会科学の知識を基礎に総合的に地域を見通す力を育成

法学、政治学、経済学、経営学、社会学などの社会科学の知識を身につけながら、地理学、環境科学、食健康学、住環境学や情報科学の素養も併せ持ち、総合的な視野で地域の問題を見通す力を養います。「ガバナンス」「ビジネス&マネジメント」「コミュニティ」の3つの基幹・発展専門科目群が準備されています。

地域に入り多角的に調査する

地域の問題を机上で理解するだけでなく、地域の人々の生活や社会活動、行政や企業の活動の実態を、実際に地域に入り多角的に調査することで、実践的に学びます。

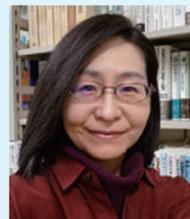
地域資源の再評価

地域の多様な生活資源、環境資源、文化資源等の再発見と評価・活用を行い、産業・働き方・生活のこれからの方向性を提案し、その実現に貢献できる人材を育成します。

授業紹介

学生の声

社会学の授業では、年代ごとの社会現象と、その頃評価されていた社会学の研究を合わせて示していただき、社会の動向が分かりやすく、年代ごとに社会的課題を読み取ることができました。毎回、授業の内容に関連した資料や秋田県内での事例などを取り挙げて下さっていたので、授業が大変楽しみでした。地域に関する諸課題を自ら考え、学ぶことができ、私たちが生きる地域社会についての関心がより深まる授業でした。



コース専門科目
地域社会学
石沢 真貴
ISHIZAWA Maki
教授(社会学)



地域文化学科、特に地域社会コースに関心がある皆さんのなかには、秋田の地域課題を解決して地域を活性化させたい、自分が育った地域に貢献したいという思いを強くもっている方も多いのではないのでしょうか。本学科の授業には、地元の民間企業や行政機関、NPO等と連携し地域の課題解決や支援事業、地域活性化のための企画立案や商品開発などを実践する「地域連携ゼミ」がありますが、こうした実践活動はただやみくもに進めればよいというものではありません。活動現場となる地域社会とはそもそも何なのか、どのようなしくみで成り立っているのか、地域の特徴はどのようにして形成されてきたのかなど、地域社会やコミュニティのことを理解するための基礎知識と深い考察力を身につけることも大切です。地域社会学やそれと密接に関連する社会調査論は、そうしたことを学ぶ授業の一つです。これらの授業が、学生の皆さんがより有意義な実践活動をしていくための助けになればよいと思っています。

国際文化コース

▶ 日本を含むアジア、欧米など、世界の多様な文化を学び、グローバルな視点から地域を考えるコースです。



授業風景(言語文化概論)



韓国・聖公会大学校での夏期研修でうちわ絵付け体験



大仙市アーカイブズでの史料調査(日本史実習)

コースの特色

人文科学の知見をもとに、世界の中の日本、東北、秋田を学び、考える

このコースで特に重視される分野は、人文科学の中核となる文学、芸術、歴史、思想、言語学などです。自らを取り巻く地域の文化を広い視野で捉え、地域の国際化の基盤となるグローバル感覚を身につけながら、異なる文化間の交流を促進するための方策を学びます。

外国語を学び、地域の特質を海外へ発信する力を身につける

語学検定(英語・独語・仏語・露語・中国語・朝鮮語)や海外研修・留学への支援制度を活用しながら、外国語の実践的な運用能力や語学を通じた視野の広がりを獲得し、地域を持つ様々な特色を国内外へ発信する力を身につけます。

国際的視野を持ち、地域を活性化できる人材の育成

世界と自分のいる地域社会の双方を視野に入れ、伝統文化の継承・伝承・地域文化の現状把握、将来に向けてのあるべき姿の構想など、地域の現状に即した問題解決力を持つ人材を育成します。

授業紹介

学生の声

特定地域研究ゼミでは、留学している地域(エミリア=ロマーニャ州、フェラーラ)の美術について、現地での観察を行いながら調査しました。資料が少ない地域だったため、現地では得られない情報が沢山あり、調べれば調べるほど興味の沸いてくる調査でした。自分の目で見える美術作品に圧倒されながらも、満足するまで作品を観察し調査できる環境で学べたことに感謝しています。留学中もリモートで先生からアドバイスを頂くことができ、改善点は沢山ありましたが今後に繋がる納得のいく調査ができました。



コース専門科目
特定地域研究ゼミ
イタリアの都市と美術に関する調査研究
佐々木 千佳
SASAKI Chika
准教授(西洋美術史)



ローマにて

ゼミの研究対象であるカリアリ大聖堂

国際文化コースの多くの教員が担当するコア・カリキュラムに位置付けられる「特定地域研究ゼミ」では、日本および世界各国の様々な地域を対象とし、実地調査をはじめとする多様なアプローチを通じてその地域の理解を深めています。担当講座では、多様な都市国家の集合体としての基盤をもつイタリアを対象に、土地の特性と美術の関係を探求する講座を担当しています。現地で制作された美術作品が、都市の成り立ちや政治、宗教などの文化的状況とどのように関わり、また役割を果たしていたのかを史料に基づき研究しています。学生たちは、関心を持った美術作品を通じ、様々な観点から都市や地域を捉えることで、各自が今居る地域を見つめるための視点へとつなげています。

心理実践コース

- ▶「こころの学」を探求し、地域を支える人材を育てるコースです。
- ▶心理学を確かな学問として身につけ、同時に教室を離れた現場でも実践力を鍛えます。



心理学実験Ⅱ(実験・調査)の様子



心理実習(教育)



コースの特色

基礎から実践まで体系的な学習

本コースでは、人間の心の働きに関心を寄せ、心理学の幅広い領域について基礎的理論、実験や統計法、面接の基本技法などを体系的に学び、それらに応用できる力を育てます。

「こころの学」を携えて地域へ

本コースでは、積極的に地域へ出かけ、フィールド調査や活動を通して、心理学的援助を必要とする人々を深く理解する態度を育てます。

地域を支える「こころの専門家」の養成

本コースでは、ここでの学びを通して地域を支えるこころの専門家を育成します。
日本心理学会が認定する「認定心理士」資格が取得できます。日本臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」資格取得に必要な大学院を目指すための基礎知識や技術が習得できます。
国家資格である「公認心理師」を取得するための科目にも対応しています。学部と大学院で指定された科目を履修するか、学部卒業後所定の実務に2年以上従事することにより受験資格が得られます。

授業紹介

学生の声

コミュニケーションや会話についての意識が変わりました。
授業すべてが目から鱗の連続でした。もっとじっくりやりたかった。
必ず問題を解決しなければいけないという考えが変わりました。
演習が多いため、受講学生と活発に交流して議論ができた。
話を聞く時、相手の話を引き出す方法を知ることができた。
生活に活かせるところがたくさんあった。



コース専門科目
心理演習
ロールプレイの実際
柴田 健
SHIBATA Ken
教授(臨床心理学)

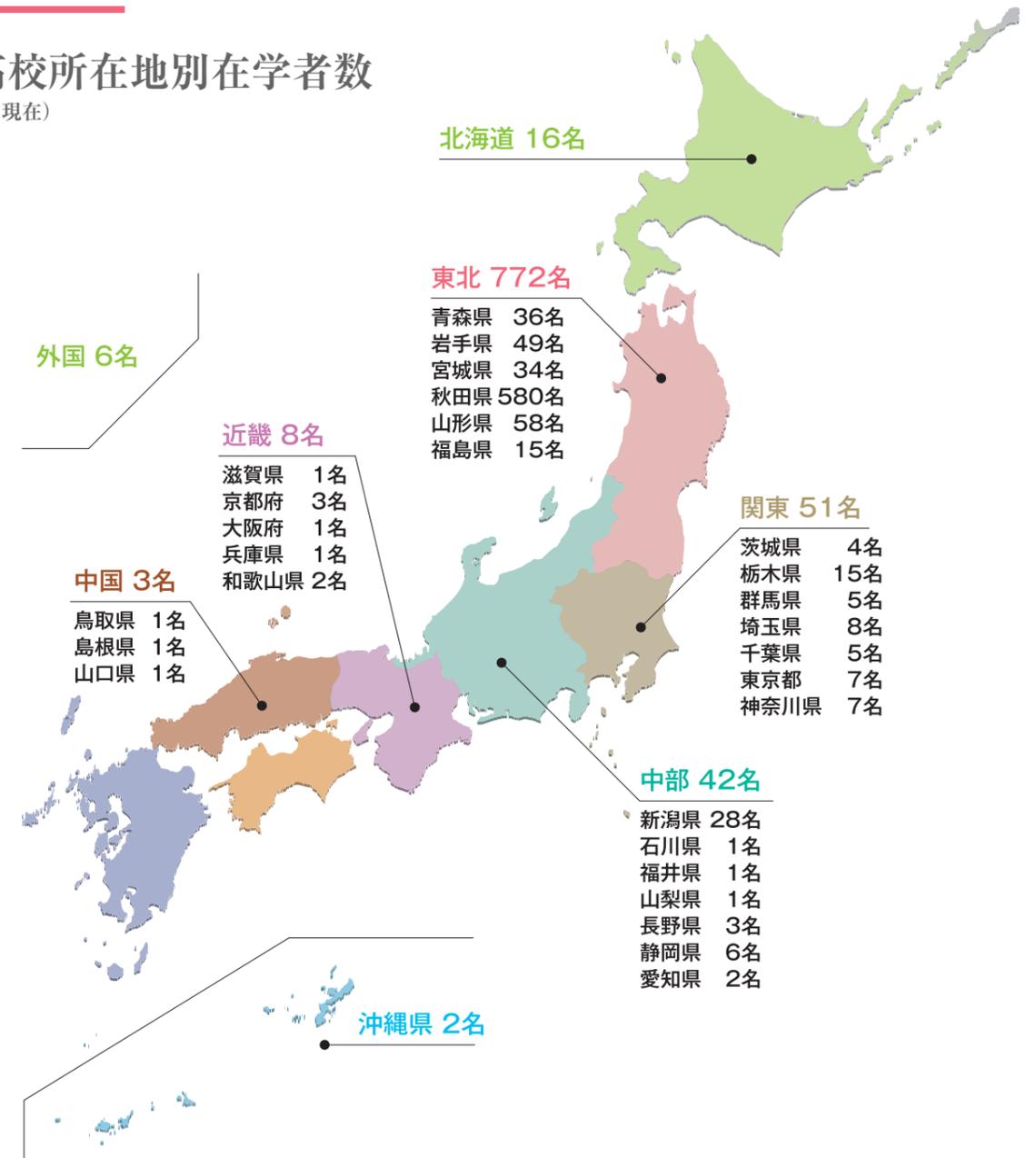


相手にとって心地よい話し方とはどのようなものなのでしょうか。この授業では、カウンセリングなどの対人支援の中で行われるコミュニケーションについて体験を通して学びます。
まずはコミュニケーション技法の基礎理論についてじっくりと学びます。その後は話し手と聞き手を決めてロールプレイを繰り返し、会話の中で何が起きたのかを全員でディスカッションすることを通して援助的なコミュニケーションの技術について考えていきます。
1対1のコミュニケーションから始め、相手に溶け込む方法、相手の自信や可能性、資源を引き出す方法について体験していきます。授業終了後には少しだけ友人や家族との会話が変わっているかもしれません。

在学状況

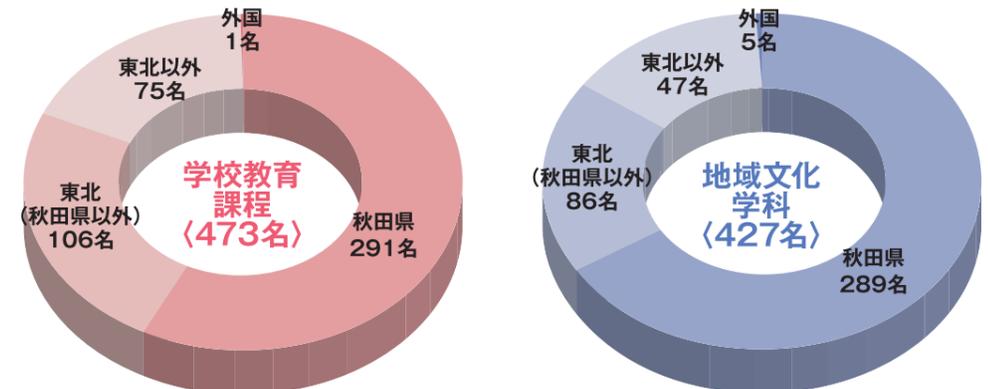
出身高校所在地別在学者数

(令和6年5月現在)



課程・学科別在学者出身地

(令和6年5月現在)



コース	教員名	研究分野	研究テーマ	関心事	
教育実践プログラム	石井 宏一	構成・デザイン	情報表現方法の開発、情報表現とデザインプロセスとの関連	コンピュータグラフィックス、情報デザイン、数理的規則性に基づく造形表現	
	石原 慎司	音楽教育学・指揮法	今日の文化と音楽に関する研究	授業方法論、オーケストラ指揮法	
	伊藤 恵造	スポーツ社会学	地域生活とスポーツ	縮小社会における地域コミュニティの再編過程	
	岡 英里奈	日本近現代文学	日本近現代文学における地方の描かれ方、マイノリティの表象について	自然主義、島崎藤村、水上勉	
	加納 隆徳	社会科教育学	法教育論「話し合い活動」の研究	法教育の教材開発や中等教育における教科関連授業の開発	
	川辺 茜	音楽	近現代のドイツ歌曲の演奏解釈	新ウィーン楽派、20世紀の英米歌曲、小中学校における歌唱指導法、歌唱教材研究	
	坂本 英駿	絵画	現代日本画制作と古典絵画(狩野派を中心)に関する論考との往還による研究	狩野芳崖研究、絵画に於ける線表現の研究とその指導法、線と色(面)の関係性、写生、模写研究	
	三戸 範之	武道方法学	柔道指導法に関する研究	柔道の技能向上、柔道の指導法	
	高橋 茉由	国語科教育学	文学体験を軸にした国語教育カリキュラム論	国語教育のカリキュラム開発、学習者研究、自己理解・他者理解	
	外池 智	社会科教育学	地域の教育資源、地域素材を活用した教育研究	歴史教育、戦争遺跡の活用、戦争体験「語り」の継承	
	長瀬 達也	美術教育学	地方美術教育史と実践的図画工作科指導法の研究	21世紀における美術教育の在り方、表現に対する苦学意識の克服、小学校教員に対する図画工作科指導への意欲喚起	
	成田 雅樹	国語科教育学	文章表現教育の指導法及び評価法の研究と教材開発	読み方指導と書き方指導の関連・統合のための基礎研究	
	堀江 さおり	家庭科教育学	家庭科における消費教育の効果的な実践	指導力のある家庭科教員の養成	
	松下 翔一	バイオメカニクス、トレーニング学、コーチング学	陸上競技選手におけるトレーニング方法論の構築に関するコーチング学的研究	跳躍選手の競技力向上、指導におけるコーチングモデル	
	松本 奈緒	体育科教育	体育授業の質的研究、体育の教師教育研究、カリキュラム論	ムーブメント教育の理論と実践、ダンス学習者の認知、体ほぐしの運動の学習事例、体育の教員養成における省察	
	吉澤 恭子	音楽教育学・音楽学	フランスの学校音楽教育制度・音楽教員養成制度	音楽文化に関する教材研究、音楽とダンス、芸術教育としての音楽の学び方	
	渡邊 和仁	運動生理学	運動時の呼吸循環応答とその調節機構	血圧調節、血流調節、心機能、暑熱・寒冷環境、脱水、生体応答の個人差	
	英語教育プログラム	佐々木 雅子	英語教育学、応用言語学	社会文化理論に基づく英語教育	Community Involvement Learning, Teacher Education
		島山 研	英語圏文学・文化、英語教育学	英語圏文学と第一次世界大戦、リメディア教育とICT	ヴァージニア・ウルフ、キャサリン・マンスフィールド、アーネスト・ヘミングウェイ
星 宏人		英語学、理論言語学	レキシコン、形態論、統語論、意味論、語用論	言語哲学、コミュニケーションと認知	
若有 保彦		英語教育学	英語授業分析、英語教育人物史	英語教材開発、英語教科書分析	
Paterson Adrian David		応用言語学	English Pronunciation, Testing, Vocabulary Acquisition, Language as a Complex Adaptive System	Evaluating techniques for teaching and assessing English pronunciation and vocabulary	
理数教育プログラム		石井 照久	生物学、生物学教育	野生動物の異常、動物の発生と生殖、動物の生体防御、水生動物の生息調査、生物教材の研究と開発	環境ホルモン、付着動物、動物のDNAとクローン性、ホヤ、生物教育、飼育、解剖教材
		岩田 吉弘	分析化学	生体試料中の微量成分分析、パソコンとセンサーを用いる化学実験教材開発	化学物質の生物環境での移動
		宇野 力	統計数学	逐次推測理論	ランダムウォークと停止規則
		大内 将也	代数学	簡約可能概約ベクトル空間の分類	概約ベクトル空間の構造と構成
		加藤 慎一	数学教育学	数論的プロセスを重視した算数・数学の教材と授業デザインに関する研究	関数指導、数学的な推論、対話、ICT、教員養成、聴覚障害
		河又 邦彦	生物学	ウミホタルの生物学	性決定
		佐藤 学	数学教育学	発展的思考・態度	教師の知識、気づき、研修
		清野 秀岳	有機金属化学	不活性小分子の交換、分子触媒の開発	金属酵素の機能・構造・合成機構
		田口 瑞穂	理科教育学、地学教育、防災教育	思考力を育成する理科の授業設計、地学を基盤とした防災教育	自然の生物や事象・現象の撮影、地学教育
		林 正彦	物性物理学、超伝導理論	超伝導など低温における量子現象の理論的研究	マクロな現象(日常)とミクロな現象(原子・分子)のつながりを理解すること
		原田 潤一	解析学	非線形偏微分方程式	爆発問題、解の漸近挙動
		原田 勇希	理科教育学、教育心理学	理数教科に特異的な困難と関連する個人差変数の分析	認知の個人差、動機づけ、研究倫理教育
		本谷 研	気象学(陸面過程)、水文学、リモートセンシング	積雪過程を含む流域水・熱収支の気象学的考察および広域への拡張	東日本域の積雪分布の季節変化・長期的な変動
		鈴木 徹	障害児心理学	自閉症スペクトラム障害児のコミュニケーション	自己理解、他者理解、関係性の構築
	能田 昂	特別支援教育学、特別ニーズ教育学	子ども被災・救済の特別ニーズ教育 北欧諸国における特別教育・特別ケア	子どもの「いのち」学び・生活・発達に関する災害・感染症パンデミック・戦禍等の問題	
	藤井 慶博	特別支援教育学	インクルーシブ教育システム、病弱教育	通常学級における特別支援教育、病弱教育	
	前原 和明	特別支援教育、職業リハビリテーション	キャリア教育、就労支援	移行支援、リハビリテーションカウンセリング	
	特別支援コース	伊藤 景子	教育実践、英語教育学	授業研究、小学校外国語教育	小中連携を通した外国語教育
		近江谷 正幸	学校経営、教職実践	社会教育等と連携した学校教育・学校経営	ふるさと教育、世界遺産教育、持続可能な開発のための教育
加藤 勝則		学校経営、教職実践	学校経営目標の実現に向けた校内研修の効果的推進	教員の一体感や授業力を高める校内研修の在り方	
佐藤 修司		教育行政学、教育法学、教育政策学	教育における自由と統制に関わる法制度の原理と歴史・現状	人権教育と教育における人権の確立、教育・研究機関におけるガバナンス改革	
瀬尾 知子		幼児教育・保育学	子どもの食事概念の発達過程	子どもの食事と現代の親子関係、養育者支援	
田中 誠祐		教職実践、数学教育学	実践的研究リーダー、義務教育学校	小中高連携教育、教師教育、内包的意味	
千葉 圭子		学校経営、教職実践	子どもの学びと育ちをつなぐ幼保小連携	学校組織マネジメント、学校不応答	
成田 龍一朗		教育哲学、社会思想史、道徳教育論	アナーキー的とそれをめぐる権力と表象	アナーキズム、エゴイズム、生きづらさ、アナーキズムと美学、反教育学、美的教育、オルタナティブ教育	
保坂 和貴		幼児教育・保育学・発達心理学	乳幼児児童の遊びにおける創造性即興的な創造過程に関する研究	舞台演劇・インプロ(即興劇)と遊びの異同	
細川 和仁		教師学、教育工学、教育方法学	授業(設計・実施・評価)における教師の実践知	「行為の中の省察」、校内研究、教育実習、総合的学習	
山口 香苗		社会教育学・生涯学習論	学習を通じた地域社会の形成	公民館と地域づくり、学校と地域の協働、台湾(東アジア)社会教育・生涯学習研究	
山名 裕子		発達心理学、幼児教育・保育	子どもの認知発達と教育・保育	「遊び」の中の「学び」、子ども主体の保育と保育者のかかわり	
和田 渉		学校経営、教職実践、地方教育行政	管理職に求められるマネジメント能力についての研究	教職キャリア指標に基づく主体的な研修、学校を活性化させる職場環境の在り方	
こども発達コース		池本 敦	栄養生化学、食品機能学、食環境学、地域資源活用	地域食資源を活用した健康食品や化粧品の開発による地域産業振興	生活習慣病予防や抗老化・健康寿命延伸を目指した栄養学、サプリメントの有効性と安全性、秋田ブランドの育成
		石沢 真貴	社会学(地域社会学)	コミュニティにおける参加に関する研究	社会変動による地域コミュニティの変容過程、伝統的地場産業と地域再生
		和泉 浩	社会学(社会学理論、都市社会学、音楽社会学、芸術社会学、環境社会学など)	都市、芸術(音楽)を中心に社会のさまざまな問題について研究	芸術、音楽、都市、不平等(格差)、ジェンダー、教育、医療、メディアなど
		植村 円香	人文地理学	農村の高齢化と地域農業のあり方	定年退職者の社会参加と地域的意義
		臼木 智昭	経営学	地域の企業・自治体の経営	経営学からみた地域活性化方策のあり方
		小野寺 倫子	民法、環境法	環境の法的保護への市民参加と民事法	公共性を有する利益の保護における私法ないし私人の役割
	熊丸 博隆	経済学(環境経済学)	廃棄物管理	プラスチック削減に向けた取り組み、政策効果の実証分析	
	佐々木 重雄	計算機科学	プログラミング言語	ネットワーク時代の計算機の利用のあり方	
	篠原 秀一	地誌学	漁港漁業・地域ブランド水産物、空間商品化	技術と生活の文化地理、東アジア・北欧、集落地誌	
	高橋 環太郎	観光学	島嶼地域の観光	計量的手法を用いた地域分析	
	中澤 俊輔	政治学、日本政治外交史	近代日本の警察と秩序維持	災害時の警察の活動、戦前日本の教育行政	
	成田 憲二	植物生態学、環境科学	種子生態・乾燥・寒冷環境での植物生態、自然環境の動態	種子の適応的役割、人間活動の地域生態系への影響	
	西川 竜二	建築環境学	自然環境に適応した健康・快適な建築環境デザインと住まい方	住環境改善からの健康増進、秋田型エコハウス、建築を通じた地域活性化、住環境教育	
	林 武司	水文学、自然地理学	水・物質循環、水利用	都市域の水環境、水資源	
	林 良雄	情報科学	人文科学とコンピュータ、情報教育	ICT技術を用いた地域活性化、地域資源のデータベース化	
	保坂 正智	地域連携コーディネーター	県内地公体、団体、企業の秋田大学に対するニーズ	県内企業における現状打破・発展のための新しい事業展開	
	益満 環	マーケティング	企業および地方自治体のマーケティング戦略	地域ブランディング、シティプロモーション、商品開発	
	棟久 敬	憲法	思想・良心・信教の自由と政教分離原則、教育を受ける権利	憲法裁判における思想・良心・信教の自由の独逸比較	
	Wan Jiangyun	経済学	ミクロ経済学、産業組織論	経済政策、イギリスの歴史、全国食歩歩き	
地域社会コース	内田 昌功	中国史	3~10世紀の政治制度史	国家と制度、民族、都市	
	大西 洋一	イギリス文学・文化	近現代英国演劇と社会の関係に関する研究	北イングランドの演劇、炭鉱の文化	
	大橋 純一	日本語学	日本語方言の分布とその動態に関する研究	方言に残る古語、それらの地理的・年代的諸相と展開	
	小倉 拓也	哲学、現代思想	現代フランス哲学を中心とした現代思想の理論的研究	言語と身体、他者、生老病死、カストロロフィと共同体	
	佐々木 千佳	西洋美術史	イタリアル・ルネサンス美術史	祭壇画を中心とするヴェネツィア派絵画の機能と社会との関係	
	佐藤 猛	西洋史	英仏百年戦争	平和と休戦、ベスト、フランス王国の中央と地方	
	清水 翔太郎	日本史	近世武家社会	近世大名家の婚姻、大名の政務、文書管理	
	高村 竜平	文化人類学	朝鮮半島の文化と近現代史	葬法と墓制、農村社会と民俗、済州島の近現代	
	辻野 稔哉	フランス文学・フランス文化、映画論	主に19、20世紀フランスの詩や小説、映像リテラシー	アポリネールの作品群、映画における映像表現の変遷	
	中尾 信一	アメリカ文学・アメリカ映画・批評理論	1920年代の文学・ジャンル論・表象文化分析	モダニズムのイデオロギー・文化と社会の関係	
	中村 寿	ドイツ文学・文化論	ユダヤ系ドイツ文学、ドイツ系ユダヤ人による定期刊行物	ドイツ系ユダヤ人、中・東欧のナショナリズム(ドイツ系ユダヤ人のナショナリズム、ナチズム)、オーストリア=ハンガリー、ウィーン、プラハ	
	長谷川 章	ロシア文学・文化論	20世紀ロシア文学、ロシア映画史	ロシア・アニメーション史	
	羽田 朝子	中国文学・文化	中国近現代文学、女性作家	占領下の文学、満州国文学	
	Horton William Bradley	コミュニケーション学、歴史	インドネシア近現代史、第二次世界大戦、戦後史、日本・アジア・米関係史、インドネシアの文学、女性史	(1)日本、インドネシアとアメリカの戦後関係、(2)日本占領期インドネシアの医療と社会、(3)20世紀のインドネシア語の資料調査と分析	
	Pasca Roman	日本哲学、ライフストーリー	安藤昌益の哲学、日本哲学と環境倫理学、言語とアイデンティティ	日本哲学における「自然」、自己と自然、ディープ・エコロジー、非母語話者日本語教師のライフストーリー	
	綾部 直子	臨床心理学	睡眠障害に対する認知行動療法	クライアントに最適な心理支援、アセスメント、連携・協働	
	北島 正人	臨床心理学	精神科医療における心理臨床	心理療法とアセスメント、治療構造	
	木村 久仁子	臨床心理学	福祉心理臨床	相談動機のない人への支援、支援者を行う人への支援	
	柴田 健	臨床心理学	効果的な心理臨床活動	フリーセラピー、ナラティブセラピー、ダイアログ	
中野 良樹	教育心理学、学習心理学、生理心理学	洞察と問題解決、感情と認知	潜在思考、ひらめき、創造性		
Hou Yuejiang	発達心理学、教育心理学	不登校から見る思春期の発達と学校教育の問題	非社会的行動、学校適応と社会文化的背景		
石沢 真貴 ※再掲	社会学(地域社会学)	コミュニティにおける参加に関する研究	社会変動による地域コミュニティの変容過程、伝統的地場産業と地域再生		

コース	教員名	研究分野	研究テーマ	関心事
地域文化学科	池本 敦	栄養生化学、食品機能学、食環境学、地域資源活用	地域食資源を活用した健康食品や化粧品の開発による地域産業振興	生活習慣病予防や抗老化・健康寿命延伸を目指した栄養学、サプリメントの有効性と安全性、秋田ブランドの育成
	石沢 真貴	社会学(地域社会学)	コミュニティにおける参加に関する研究	社会変動による地域コミュニティの変容過程、伝統的地場産業と地域再生
	和泉 浩	社会学(社会学理論、都市社会学、音楽社会学、芸術社会学、環境社会学など)	都市、芸術(音楽)を中心に社会のさまざまな問題について研究	芸術、音楽、都市、不平等(格差)、ジェンダー、教育、医療、メディアなど
	植村 円香	人文地理学	農村の高齢化と地域農業のあり方	定年退職者の社会参加と地域的意義
	臼木 智昭	経営学	地域の企業・自治体の経営	経営学からみた地域活性化方策のあり方
	小野寺 倫子	民法、環境法	環境の法的保護への市民参加と民事法	公共性を有する利益の保護における私法ないし私人の役割
	熊丸 博隆	経済学(環境経済学)	廃棄物管理	プラスチック削減に向けた取り組み、政策効果の実証分析
	佐々木 重雄	計算機科学	プログラミング言語	ネットワーク時代の計算機の利用のあり方
	篠原 秀一	地誌学	漁港漁業・地域ブランド水産物、空間商品化	技術と生活の文化地理、東アジア・北欧、集落地誌
	高橋 環太郎	観光学	島嶼地域の観光	計量的手法を用いた地域分析
	中澤 俊輔	政治学、日本政治外交史	近代日本の警察と秩序維持	災害時の警察の活動、戦前日本の教育行政
	成田 憲二	植物生態学、環境科学	種子生態・乾燥・寒冷環境での植物生態、自然環境の動態	種子の適応的役割、人間活動の地域生態系への影響
	西川 竜二	建築環境学	自然環境に適応した健康・快適な建築環境デザインと住まい方	住環境改善からの健康増進、秋田型エコハウス、建築を通じた地域活性化、住環境教育
	林 武司	水文学、自然地理学	水・物質循環、水利用	都市域の水環境、水資源
	林 良雄	情報科学	人文科学とコンピュータ、情報教育	ICT技術を用いた地域活性化、地域資源のデータベース化
	保坂 正智	地域連携コーディネーター	県内地公体、団体、企業の秋田大学に対するニーズ	県内企業における現状打破・発展のための新しい事業展開
	益満 環	マーケティング	企業および地方自治体のマーケティング戦略	地域ブランディング、シティプロモーション、商品開発
	棟久 敬	憲法	思想・良心・信教の自由と政教分離原則、教育を受ける権利	憲法裁判における思想・良心・信教の自由の独逸比較
	Wan Jiangyun	経済学	ミクロ経済学、産業組織論	経済政策、イギリスの歴史、全国食歩歩き
国際文化コース	内田 昌功	中国史	3~10世紀の政治制度史	国家と制度、民族、都市
	大西 洋一	イギリス文学・文化	近現代英国演劇と社会の関係に関する研究	北イングランドの演劇、炭鉱の文化
	大橋 純一	日本語学	日本語方言の分布とその動態に関する研究	方言に残る古語、それらの地理的・年代的諸相と展開
	小倉 拓也	哲学、現代思想	現代フランス哲学を中心とした現代思想の理論的研究	言語と身体、他者、生老病死、カストロロフィと共同体
	佐々木 千佳	西洋美術史	イタリアル・ルネサンス美術史	祭壇画を中心とするヴェネツィア派絵画の機能と社会との関係
	佐藤 猛	西洋史	英仏百年戦争	平和と休戦、ベスト、フランス王国の中央と地方
	清水 翔太郎	日本史	近世武家社会	近世大名家の婚姻、大名の政務、文書管理
	高村 竜平	文化人類学	朝鮮半島の文化と近現代史	葬法と墓制、農村社会と民俗、済州島の近現代
	辻野 稔哉	フランス文学・フランス文化、映画論	主に19、20世紀フランスの詩や小説、映像リテラシー	アポリネールの作品群、映画における映像表現の変遷
	中尾 信一	アメリカ文学・アメリカ映画・批評理論	1920年代の文学・ジャンル論・表象文化分析	モダニズムのイデオロギー・文化と社会の関係
	中村 寿	ドイツ文学・文化論	ユダヤ系ドイツ文学、ドイツ系ユダヤ人による定期刊行物	ドイツ系ユダヤ人、中・東欧のナショナリズム(ドイツ系ユダヤ人のナショナリズム、ナチズム)、オーストリア=ハンガリー、ウィーン、プラハ
	長谷川 章	ロシア文学・文化論	20世紀ロシア文学、ロシア映画史	ロシア・アニメーション史
	羽田 朝子	中国文学・文化	中国近現代文学、女性作家	占領下の文学、満州国文学
	Horton William Bradley	コミュニケーション学、歴史	インドネシア近現代史、第二次世界大戦、戦後史、日本・アジア・米関係史、インドネシアの文学、女性史	(1)日本、インドネシアとアメリカの戦後関係、(2)日本占領期インドネシアの医療と社会、(3)20世紀のインドネシア語の資料調査と分析
	Pasca Roman	日本哲学、ライフストーリー	安藤昌益の哲学、日本哲学と環境倫理学、言語とアイデンティティ	日本哲学における「自然」、自己と自然、ディープ・エコロジー、非母語話者日本語教師のライフストーリー
	綾部 直子	臨床心理学	睡眠障害に対する認知行動療法	クライアントに最適な心理支援、アセスメント、連携・協働
	北島 正人	臨床心理学	精神科医療における心理臨床	心理療法とアセスメント、治療構造
	木村 久仁子	臨床心理学	福祉心理臨床	相談動機のない人への支援、支援者を行う人への支援
	柴田 健	臨床心理学	効果的な心理臨床活動	フリーセラピー、ナラティブセラピー、ダイアログ
中野 良樹	教育心理学、学習心理学、生理心理学	洞察と問題解決、感情と認知	潜在思考、ひらめき、創造性	
Hou Yuejiang	発達心理学、教育心理学	不登校から見る思春期の発達と学校教育の問題	非社会的行動、学校適応と社会文化的背景	
石沢 真貴 ※再掲	社会学(地域社会学)	コミュニティにおける参加に関する研究	社会変動による地域コミュニティの変容過程、伝統的地場産業と地域再生	

※心理実践コースは、地域社会コースの石沢真貴も指導にあたっています。

詳しくは
秋田大学ホームページ
「研究者総覧」で!



国際交流・留学支援

●教育文化学部では、世界の様々な社会、文化、言語の学習を重要視しており、国際交流の推進、留学支援制度の充実を進めています。

●秋田大学と学生交換に関する協定を結んでいる協定校へ留学する場合、留学先の授業料が免除されます(上限人数あり。本学の授業料は支払う必要があります)。留学先で取得した単位は秋田大学の単位として認定を受けることができ、条件を満たせば留学しても4年間で卒業することができます。

●留学支援制度には「秋田大学みらい創造基金学生海外派遣支援事業」および「教育文化学部国際交流等学術研究交流基金の助成事業」に基づくものと、「外部の留学支援制度」に基づくものがあります。

1. 秋田大学みらい創造基金学生海外派遣支援事業

交換留学生として留学する場合、一定の条件を満たすと渡航費の一部の助成を受けることができます。

2. 教育文化学部国際交流等学術研究交流基金の助成事業

本学部教員が企画する交流プログラムに参加する場合および海外の大学へ留学する場合、助成を申請することができます。

3. 外部の留学支援制度

日本学生支援機構の「海外留学支援制度」や、地方自治体(国際交流団体を含む)奨学金、外国政府等奨学金、民間団体奨学金等、留学を支援する制度があります。

※なお、交換協定を結んでいない大学であっても、留学することは可能です。

留学に関する相談窓口を設置しています!

秋田大学では経済的な支援だけでなく、留学先に関する情報や留学に必要な言語運用力、経費等、留学に関するさまざまな事柄についての相談窓口として、「高等教育グローバルセンター」を設置しています。また国際交流協定校の窓口担当教員へも相談できます。

教育文化学部との主な提携先(大学間・部局間協定※)

中国	●黒龍江大学 ●蘭州大学 ●北華大学 ●西北師範大学
アメリカ	●セント・クラウド州立大学
韓国	●国立ハンパット大学校 ●圓光大学校 ●聖公会大学校韓国語学室※
台湾	●龍華科技大学
ルーマニア	●ブカレスト大学
イスラエル	●ハイファ大学
イタリア	●カリアリ大学
フィンランド	●ラップランド応用科学大学
カナダ	●ニューファンドランドメモリアル大学
オーストラリア	●グリフィス大学(短期研修のみ)

教育文化学部に在籍する留学生数(過去3年分)

令和5年度 / 37名(国費2名、私費35名)	
学部生	8名(中国6、ベトナム1、マレーシア1)
非正規生	29名(中国14、韓国4、台湾2、ウクライナ4、イスラエル2、ポーランド1、フィリピン1、フィンランド1)
令和4年度 / 31名(国費4名、私費27名)	
学部生	7名(中国4、マレーシア2、ベトナム1)
非正規生	24名(中国13、韓国4、台湾2、ルーマニア1、イスラエル1、フィンランド1、アメリカ1、タイ1)
令和3年度 / 23名(国費3名、私費20名)	
学部生	5名(中国4、マレーシア1)
非正規生	18名(中国11、韓国3、台湾1、モンゴル1、イスラエル1、タイ1)

留学体験記

秋田大学 > カナダ

Trial and Error 留学を通じた成長

カナダ・ニューファンドランドメモリアル大学へ留学

齋藤 健

地域文化学科/人間文化コース
令和2年度卒業、アデレード大学大学院



日本からはるばる飛行機を乗り継ぎ、たどり着いた先はカナダのニューファンドランド島。吹雪で飛行機が遅れ、学校の寮に昼過ぎにつく予定が到着したのは夜の18時頃。初日から災難だなあと感じたことを今でも覚えています。留学先はニューファンドランドメモリアル大学、カナダの最も東に位置する島にある総合大学です。スタートこそ災難でしたが、約1年の交換留学は学びの連続でとても有意義な時間でした。

授業は、英語の4技能の学習を中心としたESLというカリキュラムから心理学、言語学、文学などの学部授業までを幅広く受講。授業を英語で学ぶ大変さや意見を表現する難しさを感じながらも、課題やテストを一つ一つ無事に終えていく達成感を同時に経験することができました。

生活においてもルームシェアをしたり、大学の部活に参加させられたりと現地の人々や様々な国からの留学生とコミュニケーションをとる機会が多く、充実した日々を過ごせました。こうして広がった交流の輪は留学終了後も続いており、かけがえのない宝物です。

Trial and Errorという言葉がありますが、留学はまさしくこの言葉が当てはまります。私自身、留学中に多くの失敗を経験しましたが、それ乗り越えたことによる成長を実感することもできました。もちろん語学力や専門知識の習得も留学の醍醐味ですが、1人の人間として成長できる機会を得ることも、留学のもう一つの醍醐味だと言えるでしょう。

中国 > 秋田大学

秋田での 留学生活と学び

中国広州市出身(令和5年度卒業)

林 文博



2020年の春、世の中がコロナウィルスの影響で大いに混乱している中、私は秋田大学に入学しました。都会では感じられない程よいのんびり感があり、地域の伝統文化が溢れているこの町に、私は魅了され続けています。都会のように賑やかではないかもしれませんが、新しい発見や小さなサプライズがあちこちにあります。

教育文化学部では、教員になるためのプログラムがあり、また社会科学や人文科学、環境や衣食住に関する学問、心理学など幅広い分野の授業が開設されています。専攻の授業の他に、自分の関心や将来の進路に応じて、自由選択科目として、興味のある授業も履修することができます。私は歴史学を専攻していますが、映画などの表象文化に関する授業やドイツ語も履修しています。

留学生活も2年、3年と過ぎると、最初の頃に抱いていた新鮮さは徐々に薄れていきます。また学びが深まるにつれ、関心も変化していきます。そうした中、学習や将来の就職に向けた計画を立てる時、先生方の指導が重要になります。専攻に迷った時、気軽に相談できる先生方がいて、私はたいへん助かりました。また人生はいつも思い通りになるとは限りません。そんな時も先生方には私の悩みや迷いについて相談に乗っていただき、たいへん大きな助力となりました。

先生方や友人に囲まれ、各地に旅行もし、勉強や研究に打ち込むことができた秋田大学での生活は、私にとってすばらしい経験です。この留学生活は生涯忘れられない思い出になると、私は思っています。

関連教育研究機関等

附属教職高度化センター

附属教職高度化センターは、「教職研究部門」「教育実践研究部門」「教員育成連携支援部門」「臨床心理学部門」より構成される研究教育施設です。教育工学センター(1977年設置)、教育実践研究指導センター(1992年改組)、教育実践総合センター(2000年改組)、教育実践研究支援センター(2010年改組)をその前身として、2019年4月に改組しました。秋田県における教員育成の中心的な役割を担うため、秋田県総合教育センター・秋田市教育研究所と連携した取組を行っています。

当センターは、学校マネジメント研究(学校経営・学校組織研究)、教育方法研究(授業研究、プログラミング教育、学力向上と学習論研究)、教員研修研究(校内授業研究の支援、リーダーシップ研究)、教員養成研究(教職カリキュラム開発、教育実習・ボランティア)、教育臨床研究(臨床心理相談、いじめ・不登校研究)、教育発達支援(発達支援相談、特別支援教育の研究)、等の多岐にわたる実践的な教育研究を推進しています。



大学院教育学研究科

大学院教育学研究科は、教職実践専攻と心理教育実践専攻の2専攻で構成されています。学校マネジメントコース(現職教員のみ)の1年を除き、標準履修年限は2年です。

教職大学院(専門職学位課程)である教職実践専攻は、理論と実践の往還を通じて、学校現場の課題を解決し、実践知の継承と創造に取り組む意欲と高度な力量を有する初等中等教育教員を養成します。学校マネジメントコース、カリキュラム・授業開発コース、発達教育・特別支援教育コースがあり、現職教員院生と学部卒院生がともに学びます。教職チャレンジ制度により原則3年で教員免許状に必要な学部科目を無料で履修できます。

修士課程である心理教育実践専攻臨床心理学コースは、スクールカウンセラー等のこのころの相談にあたる専門家を養成します。大学において指定の心理学等に関する科目を修め、さらに本専攻において指定の科目を修得して修了した者は、公認心理師、臨床心理士、学校心理士の受験資格が得られます。

附属学校園

附属学校園には、幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校があります。

教員をめざす学生が教育実習をしたり、学部と学校園の教員が共通のテーマに取り組むなど、多彩な教育実践の研究を行っています。

附属幼稚園

自然豊かな園庭で、子どもたちは季節を存分に楽しみながら、のびのびと遊んでいます。毎年研究協議会を開催し、子どもの育ちについてはもちろんのこと、幼児の自発的な遊びを支える保育について広く発信しています。



附属小学校

光の差し込む明るい校舎やオープンスペースのある教室棟、図書の実質したメディアセンター等、恵まれた環境の中で子どもたちの「生きる力」を育てています。また毎年、公開研究協議会等を積極的にを行い、教育研究校としての役割も果たしています。



附属中学校

自発・創意・責任と自治の精神を重視し、未来を自立的に生きる生徒を育てています。各教科や総合DOVでICTも活用した先進的な教育で、主体性や独創性を磨くことに取り組んでいます。



附属特別支援学校

社会資源を活用し地域社会と連携した学習や、ICT機器を活用した学習、交流及び共同学習などの特色ある教育活動を行っています。これらの活動を通して、積極的に社会参加できる子どもの育成を目指しています。



キャリア形成・就職支援

●教育文化学部では、「キャリア委員会」が中心になって、学生の皆さんが主体的にキャリア形成ができるような支援を行っています。

●教育文化学部で学んだ幅広い知識を武器に、満足できる就職ができるよう支援しています。

〈就職情報室の設置〉

教育文化学部では「就職情報室」を設置し、常時専門職員が就職相談を行っています。

〈就職試験対策への支援〉

教育文化学部では、就職試験対策として以下の手厚い支援を行っています。

- ①教員採用試験対策講座「スタージュ」の実施
- ②企業・公務員志望者への支援
- ③卒業生・先輩からの支援
- ④「就職ガジェット」による就職情報の配信



就職情報室



教員採用試験対策講座「スタージュ」では、4年生向け合宿「スプリング・キャンプ」及び3年生向け合宿「オータム・キャンプ」(写真)を行っています。

おもな就職先・進学先

※過去3年分(2021~2023年度卒業生)

学校教育課程

教職

●秋田県(幼稚園教諭・保育教諭・私立認定こども園・小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・高等学校教諭・小学校講師・中学校講師・特別支援学校講師・秋田大学教育文化学部附属特別支援学校講師) ●北海道(中学校教諭・高等学校教諭) ●青森県(中学校講師) ●岩手県(幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭) ●宮城県(小学校教諭・中学校教諭・小学校講師) ●仙台市(小学校教諭) ●山形県(幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・小学校講師・高等学校講師) ●福島県(小学校教諭・中学校教諭・中学校講師) ●茨城県(小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・私立中学校教諭・私立高等学校教諭) ●栃木県(小学校教諭・中学校教諭) ●群馬県(中学校教諭・特別支援学校教諭) ●埼玉県(小学校教諭・高等学校教諭) ●さいたま市(特別支援学校教諭) ●千葉県(小学校教諭・中学校教諭・中学校講師・高等学校講師) ●東京都(小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭) ●神奈川県(小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・小学校講師・中学校講師) ●新潟県(小学校教諭・中学校教諭) ●新潟市(小学校教諭) ●静岡県(中学校教諭) ●兵庫県(高等学校教諭)

公務員

●秋田県庁 ●秋田県警察 ●秋田市役所 ●秋田地方裁判所 ●潟上市役所 ●湯沢市役所 ●井川町役場 ●奥羽市役所 ●仙台市 ●東北農政局 ●鶴岡市役所 ●千葉市 ●横浜市 ●新潟県(保育士) ●金沢市 ●厚生労働省

企業

●秋田銀行 ●北都銀行 ●羽後信用金庫 ●秋田赤十字病院 ●秋田赤十字乳児院 ●山形銀行 ●薬王堂 ●イオンリテール ●伊藤園

進学

●秋田大学大学院 ●信州大学大学院 ●筑波大学大学院

地域文化学科

公務員

●秋田県庁 ●秋田県警察 ●秋田地方検察庁 ●秋田地方家庭裁判所 ●秋田地方方法務局 ●秋田労働局 ●秋田市役所 ●北秋田市役所 ●能代市役所 ●男鹿市役所 ●大仙市役所 ●横手市役所 ●由利本荘市役所 ●にかほ市役所 ●仙台国税局 ●仙台市役所 ●農林水産省東北農政局 ●法務省仙台法務局 ●財務省東北財務局 ●岩手県庁 ●一関市役所 ●滝沢市役所 ●山形県庁 ●山形地方裁判所 ●山形市役所 ●鶴岡市役所 ●福島県庁 ●新潟県庁 ●宇都宮市役所 ●総務省 ●労働基準監督官

法人

●国立大学法人秋田大学 ●学校法人ノースアジア大学 ●秋田県立病院機構 ●秋田県市町村職員共済組合

企業

●秋田銀行 ●北都銀行 ●羽後信用金庫 ●七十七銀行 ●仙台銀行 ●岩手銀行 ●第一生命保険 ●日本放送協会 ●日本交通 ●東日本旅客鉄道 ●日本旅行東北 ●全国農業協同組合連合会 ●タカヤナギ ●伊徳 ●プライムアシスタンス ●薬王堂 ●クスリのアオキ ●秋田ケーブルテレビ ●秋田住宅流通センター ●カメイ ●NTT東日本一東北 ●リコージャパン ●アパホテル ●アイリスオーヤマ ●セキスイハイム ●生活協同組合コープあきた ●ヤマトシステム開発 ●DOWAホールディングス ●エスエスシステム

進学

●秋田大学大学院 ●東北大学大学院 ●東京学芸大学大学院 ●筑波大学大学院

教育文化学部 卒業生の 就職体験談



秋田市立八橋小学校教諭

佐藤 歌純 SATO Kasumi

学校教育課程 / 教育実践コース
令和4年度卒業

私は、令和5年度から秋田県の小学校で教壇に立っています。心強い先輩である先生方と目を輝かせて学ぶ子どもたち、そしていつも温かく見守ってくださる保護者の方と共にかげかえのない日々を過ごしています。担任として奮闘する今、教師には、未来を担う子どもたちの歩みを支える大切な使命があると感じています。

高校在学時、私は秋田県の教員になるために秋田大学教育文化学部を選び、大学の4年間を通して教員採用試験の対策に励みました。秋田の教育を肌で感じた教育実習や研究室における地域に密着した授業づくり、そして、教員採用試験に向けた自主ゼミにおける対策など、4年間で得た経験や学びの全てが今の私をつくったと思っています。

3年から始まった教員採用試験対策では、教鞭を執っていらした先生方からもご指導いただき、面接や模擬授業、小論文の対策など多岐にわたって現場で戦力になるために必要な力をつけることができました。また、私の周りには秋田県の教員を志す仲間や教員となった先輩が数多くいたことから、互いに助言し、励まし合い、まさに「チーム秋大」として試験に臨むことができました。客観的かつ多様な視点で自分の考えや実践を見直し、改善するというのが大学4年間で身に付き、現場でも生きていくと実感しています。

「就職先で自分はこんなことに力を入れる」という明確なビジョンや自分なりの教育観といった確固たる信念、そして不断の努力があれば、就職活動は自分の未来を自分でつくる黄金の期間になるはず。大学生活は長いようでとても短いものです。卒業式で「やりきった」と思えるように、自分の可能性を広げて挑戦していきましょう。



総務省

高橋 元気 TAKAHASHI Genki

地域文化学科 / 地域社会コース
令和4年度卒業

令和5年4月、私は総務省(旧自治省系)に入省しました。大学入学時には全く考えてもいなかった進路です。

私は地元のために働きたいと考え、秋田県庁を目指して就活していましたが、就活のマイテーマとして視野を広く持つことを意識していたため、官民どちらもインターンや説明会に参加して研究をしました。そこで私の考えが大きく変わったのを覚えています。横手市役所のインターンに参加した際に、市の財政は市単独で支えることができず、国の財政制度のもとに成り立っている、これは秋田県だけでなく日本全国の自治体の多くが同じ状況である、ということを知りました。このとき私の中で市役所でのインターンと国の説明会がつながり、財政面で日本全国の自治体のために働きたいと思うようになりました。私が総務省を目指そうと思ったきっかけです。視野を広く持つ研究を行い、インターンや説明会に参加するチャンスを積極的に活用したため、第一志望である総務省から内定をいただくことができました。

アドバイスというより、私の体験を書かせていただきました。皆さんの就職活動がよりよいものになることを東京・霞が関から応援しています。



リコージャパン株式会社

金子 雄大 KANEKO Yudai

地域文化学科 / 地域社会コース
令和4年度卒業

私は現在、カスタマーエンジニアとして秋田市内でコピー機の修理や点検を行っています。

1年間働いて感じた学生と社会人との一番の違いは、考え方がインプットからアウトプットに変わったことです。社会人は、状況を説明したり、技術を発揮したりと、能動的な行動を求められる機会が多いです。

中でも、年上の社員やお客様と友好的な関係を築くコミュニケーション能力は重要だと感じています。学生時代にアルバイトやボランティア活動で年上の方とはお話ししていましたが、それでも年齢や価値観が異なる人と円滑に話すことは難しいです。もし機会があれば、積極的にアルバイトや地域団体に所属することで今後に生かせるかと思っています。

最後に、大学生活を楽しみつつ将来に活かすために重要なキーワードを3つ紹介します。「若さ」「仲間」「時間」です。旅行にでかけ、イベントに参加し、部活動を楽しみ、ボランティアに参加し、バイトで稼ぐとにか1週間をやりたいたいで埋め尽くしてほしいです。時間と若さと適度なお金がそろっているのは今だけです。そして充実した日々は、最終的には就職活動や社会人生活に生きてきます。ぜひ、4年間を思いっきり楽しんでください!

「未来をつくる」この大切な使命のために

視野を広く持つ

今を充実させれば未来が充実する

2025年度入学者選抜の方法

入試区分	学校教育課程						地域文化学科
	初等中等教育コース				特別支援教育コース	こども発達コース	
	一般型	英語型	数学科型	理科型			
一般選抜 大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の結果および調査書を総合して判定します。	前期 ・大学入学共通テスト ・個別学力検査(国語、数学、英語、実技検査(音楽、美術、体育から一つ)から2教科等選択) ・調査書	・大学入学共通テスト ・英語(スピーキングを含む) ・小論文(英文) ・面接(日本語)	・大学入学共通テスト ・個別学力検査(数学) ・調査書	・大学入学共通テスト ・個別学力検査(理科から1科目選択) ・調査書	・大学入学共通テスト ・個別学力検査(国語、数学、英語から2教科選択) ・調査書	・大学入学共通テスト ・個別学力検査(国語、数学、英語から2教科選択) ・調査書	・大学入学共通テスト ・個別学力検査(国語、数学、英語から2教科選択) ・調査書
	後期 ・大学入学共通テスト ・小論文および面接または実技検査(音楽、美術、体育から一つ)および面接	・大学入学共通テスト ・英語スピーキング ・小論文(英文) ・面接(日本語)	・大学入学共通テスト ・面接(板書等による記述を課す試験を含む)	・大学入学共通テスト ・面接(板書等による記述を課す試験を含む)	・大学入学共通テスト ・小論文 ・面接	・大学入学共通テスト ・記述問題 ・面接(口頭試験を含む)	・大学入学共通テスト ・小論文 ・面接
総合型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない) 小論文、プレゼンテーション、面接の結果および調査書、志願理由書を総合して判定します。	—				—	—	・小論文 ・プレゼンテーション ・面接
学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない) 小論文、実技検査、面接の結果および調査書、推薦書、志願理由書を総合して判定します。	—				—	—	—
学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す) 大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の結果および調査書、推薦書を総合して判定します。	・大学入学共通テスト ・小論文および面接または実技検査(音楽、美術から一つ)および面接	・大学入学共通テスト ・面接(英語スピーキングを含む)	・大学入学共通テスト ・面接(数学の板書等による記述を課す試験を含む)	・大学入学共通テスト ・面接(理科の板書等による記述を課す試験を含む)	—	・大学入学共通テスト ・小論文 ・面接(口頭試験を含む)	・大学入学共通テスト ・小論文 ・面接
編入学	学力検査、面接の結果および成績証明書、志願理由書を総合して判定します。						
私費外国人留学生入試	個別学力検査等の結果および日本留学試験の成績を総合して判定します。						

※各入試試験の詳細については、入学者選抜要項(令和6年7月公表予定)および各募集要項により必ずご確認ください。

※詳しくは秋田大学ホームページ「秋田大学受験生ポータルサイト」で!



手形キャンパスへの交通案内



- 秋田駅西口から「バス(秋田中央交通)」の場合
西口バスターミナル⑫番から「手形山大学病院」線 ※「秋田大学前」下車/徒歩1分
- 秋田駅東口から「徒歩」の場合▶約15分(約1.3Km)

秋田大学 オープンキャンパス 2024

2024 7/27(土)開催

詳細は決まり次第
ホームページで
お知らせします。

AKITA UNIVERSITY
OPEN CAMPUS

秋田大学
 教育文化学部
 〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1
 TEL.018-889-2509 FAX.018-833-3049
<https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>



教育文化学部
ホームページ